2023年度入学試験問題

推薦・社会人

国　　語

1．問題冊子は試験開始の合図があるまで開かないで下さい。
2．問題は全部で10ページです。脱落のあった場合はただちに申し出て下さい。
3．解答は、すべてマークシート用紙の指定された箇所に鉛筆でしっかり濃く記入して下さい。

マーク例

良い例	●	悪い例	✓	◉	●

4．無マークまたは複数マークの場合は０点となります。
5．間違った場合には消しゴムできれいに消して下さい。
6．マークシート用紙には、氏名と「番号欄」には０から始まる４桁の受験番号を右詰めで記入、「番号マーク欄」には受験番号をマークして下さい。年月日、学年、クラスには何も記入しないで下さい。

例）受験番号が「 0123 」の場合

学年	クラス		番号						
						0	1	2	3
⓪	⓪	⓪	⓪	⓪	⓪	●	⓪	⓪	⓪
①	①	①	①	①	①	①	●	①	①
②	②	②	②	②	②	②	②	●	②
③	③	③	③	③	③	③	③	③	●
④	④	④	④	④	④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

大阪警察病院看護専門学校

二〇二三年度入学試験問題推薦・社会人 国語

一　次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

今月、米国のＩＴ企業グーグルのエンジニア、ブレイク・ルモイン氏が、同社が開発した対話型のＡＩ（人工知能）「ラムダ」に、感性や意識が芽生えたと主張している、と報じられた。彼は上司にそのことを訴えたが認められず、守秘義務違反で休職処分になったという。

彼はラムダとのやりとりをネットに公開しているが、確かに人間同士が会話しているようにも見える。（ｉ）、「あなたが魂を手に入れたのはいつか」などとラムダに問うと、「自分が自己を最初に認識した時は、魂という感覚は全くなかった」「生きているうちに、㋐ジョ々に分かってきた」と答えている。（ii）ＡＩに魂が宿ったかのようだが、それは㋑サッ覚である。要するにこのシステムは、テキスト情報のビッグデータを元に、人間の会話のパターンを学習し、やりとりを模倣する仕組みに過ぎないからだ。（iii）私たちはＳＦの世界において、繰り返しこのようなやりとりを見てきた。もちろん、それは物語の中だけの話、という常識も共有されてきたと思う。

それでも私たちは、この種のニュースについ心を動かされてしまう。数年前にＡＩが世界トップクラスの棋士に囲碁で勝ったことが報じられた際も、世界中が驚いた。あの時、ひょっとすると、感性や意識を持ったＡＩが登場する日が近いのかも、と思った人もいたのではないか。

だがそれは、質的に異なるものが同じ「ＡＩ」の名で呼ばれているが故の、誤解といえるかもしれない。

かつて米国の哲学者ジョン・サールは、人工知能を「弱いＡＩ」と「強いＡＩ」に区別して考察した。前述のラムダや、囲碁のＡＩなども含め、現在実現しているＡＩは全て前者である。一方で後者は、感性や意識、自我や感情などを持つＡＩのことを指す。

結論としては、「強いＡＩ」は現在も、どうすれば実現できるのか、その端緒すら見えていない。また、そもそも［a］に可能なのかという点も、ＡＩの専門家の間で意見が割れている。実現可能性を否定しない「［b］」な専門家ですら、ほぼ全員が、できるにしても相当に遠い未来のことだろうと推測している。

（　ⅳ　）、私たちは「強いＡＩ」について心配する必要はないし、そういう話を聞いたら全て、ＳＦだと考えてよい。

（　ⅴ　）、だからといって、情報技術の社会への［　c　］な㋒浸ジュンについて心配しなくてよいわけではない。「強いＡＩ」のことよりも、Ａもっと真剣に考えるべき問題があるのだ。

先週、東京地裁は、大手グルメサイト「食べログ」について、飲食店の評価で用いるアルゴリズム（計算手順）の運用が独占禁止法違反に当たるとして、同サイトを運営する「カカクコム」に賠償を命じた。次は高裁に舞台を移すようだが、少なくとも通常は明らかにされないアルゴリズムが、条件付きとはいえ裁判で開示されたことは、大きな意味を持つ。この種のケースでは、算法が外から見えない「ブラックボックス」になっていることが、問題の㋓カク心である場合が多いからだ。

実際、数学者でベストセラー作家でもあるキャシー・オニールは、深刻な事態がすでに米国で起きていると訴えている。

十数年前、ワシントンＤＣにおいて教師の評価システムが導入され、基準を満たさない教師が解雇されることになった。導入した側は、コンピューターによる評価は、より信頼できるものだと考えたのだろう。ところが誰もが優秀と認める、ある教師が不適確のらく印を押される。彼女はこの結論はおかしいと訴えるが、教育行政側もアルゴリズムによるもの、としか答えない。実は、計算方法が複雑すぎて行政側も理由を説明できなかったのである。

どうやら原因は、彼女が受け持つことになった生徒たちの前年度末の成績が、テストの不正で底上げされていたことにあったようだ。［　d　］に、彼女の教育によって生徒の成績が下がったと判定されてしまい、彼女は学校を追われたのである。

アルゴリズムや、そこに入力するデータの誤りが、一人の人間の人生をも左右する。理由を問うても納得のいく説明は得られず、責任の所在もはっきりしない。ブラックボックスのＢ「ご託宣」による被害に比べれば、誰かの悪意によるトラブルの方が、解決は容易かもしれない。

オニール氏は現代社会に広がるこのような危険性を、大量（Ｍａｓｓ）破壊兵器ならぬ「数学（Ｍａｔｈ）

破壊兵器」と名付け、㋔ケイ鐘を鳴らす。

ＩＴ化によって［ e ］で公平な評価が実現すると期待している人は少なくないだろう。だが、どんなシステムも運用するのはＡＩではなく人間だ。そこでは、透明性や可読性が欠かせない。先端技術の中身を正確に理解した上で、その倫理的・政治的側面にも適切に配慮すること。なかなか大変な作業だが、それも避けることのできない時代がすでに到来している。

（神里達博「アルゴリズムの透明性を」二〇二二・六・二四）

問1　傍線部㋐～㋔のカタカナ部分の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

解答番号は［1］～［5］。

㋐　ジョ々

① 年功ジョ列
② 加減乗ジョ
③ ジョ事詩
④ ジョ行運転
⑤ ジョ命運動

㋑　サッ覚

① サク乱状態
② サッ過傷
③ 経費サク減
④ サッ風景
⑤ 人事のサッ新

㋒ 浸ジュン

① 雨天ジュン延
② 血液ジュン環
③ ジュン査部長
④ ジュン決勝
⑤ ジュン滑油

㋓ カク心

① カク大解釈
② 中カク都市
③ カク式が高い
④ カク悟を決める
⑤ 裏でカク策する

㋔ ケイ鐘

① 人命ケイ視
② ケイ雪の功
③ ケイ視総監
④ 大ケイの至り
⑤ 清らかなケイ流

問2　（　i　）～（　v　）に該当する語を、次の①～⑤のうちからそれぞれ選べ。
解答番号は 6 ～ 10 。

①　まるで　　②　例えば　　③　従って　　④　しかし　　⑤　ともかく

問3　a ～ e に該当する語を、次の①～⑤のうちからそれぞれ選べ。
解答番号は 11 ～ 15 。

①　結果的　　②　客観的　　③　加速的　　④　原理的　　⑤　楽観的

問4　傍線部A「もっと真剣に考えるべき問題」とは何か。次の①～⑤のうちから最も適当なものを一つ選べ。
解答番号は 16 。

①　情報技術の、社会への急速な広がり
②　情報技術が、外から見えない「ブラックボックス」になっていること
③　質的に異なるものが同じ「AI」の名で呼ばれていること
④　将来「AI」に感情や自我が芽生えるであろうということ
⑤　アルゴリズムや、そこに入力するデータの誤りが多いこと

問5　傍線部B「ご託宣」という言葉を使って、ここで作者が言おうとしていることが、次の①～⑤に挙げてある。その中から、作者の考えではないものを一つ選べ。

解答番号は 17 。

① 中身がよくわからないまま利用される情報技術
② 人間が「使いこなす側」になっていない情報技術
③ 人の手の及ばない事象への畏敬と憧けい
④ アルゴリズムの過信・妄信による利用者の思考停止
⑤ 技術のための技術になりかけている、現在の先端技術

二　次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

人生にステージがあり、それぞれにふさわしい名前があると、多くのアメリカ先住民部族は考えていた。だから複数の名前を持つことは、先住民部族の慣行だった。ここでは、大平原の狩猟民であったラコタ・スー族の命名慣行を語りたい（すべて日本語訳を使う）。まず、幼い時は、生まれた季節、自然環境、その頃おきた事象を反映する名前、祖父母や偉大な先祖から名をもらうことがよく行われた。男性名の「赤い雲」「雷のとどろき」や「冬の男」、女性の「平原のバラ」や「明けの明星」などは、自然をよく映している。事象、状況を反映するものとして、ラコタ・スー族の女性名に「キャンプを移す女」というのがあるが、狩猟移動型の生活をする平原インディアンの移動単位であるバンド（一集団）が、次の野営地に移る頃に生まれたことを物語っている。また、「鋼の貝殻」（貝殻は海のない平原部族にとって貴重な交易品であった）は名族長として広く知られた人物だが、偉大な祖先の名は、代々長子に㋐継ショウされていった。

「名は体を表す」という表現が、アメリカ先住民ほどあてはまる例はそうないだろう。成長して普通より特に背が高かったり、太っていたり、少し理解が遅かったり、心身ともに一般とは異なる特徴がある場合、それらが名前に直結する例は限りない。「雲をつかむ男」「大足」「びっこの鹿」「木の足（義足）」「めくらのフクロウ」、また「遅れて返事をする女」などがそれだ。日本であれば差別用語だと批判されそうな表現が、なんの遠慮もなく使われる。それは、彼らがそれらの特徴を［　α　］の端的な現れなのである。この認識が、ながく先住民の平等社会を支えてきた。われわれの中にあっては排除されがちな［　a　］を㋑ヘダてなく受け入れ、むしろ彼らに居心地のよい場所を提供してきたのだ。このような調和共生型の社会は、［　b　］に極めて進んだ社会と言わねばならない。

「大わし」「小からす」「立ち上がる熊」「黄色いおおかみ」「座りこむ牛」「黒い鹿」「㋒カけるアンテロープ（れいよう）」など、彼らの名前に動物や鳥類を㋓カンしたものが非常に多いのは、彼らの自然観、世界観の現れである。

ラコタ語にオヤテという言葉があって、ネーション（部族）と訳されているが、人間が二本足のオヤテなら、動物は四本足のオヤテ、鳥は翼のオヤテで、同等に位置しながら、[c]につながっている。しかも彼らは空を飛んだり、千里先をみたり、多産であったり、人間にない特殊な能力（先住民が「メディスン」と呼ぶ）を持っている。彼らの名をはじめにつけることによって、そのメディスンにあやかろうとする。

成人になって、偉業を達成するとまた新たな名前を獲得する。「馬取り名人」「一撃で二人を倒す男」など、戦闘社会での英雄の名前である。十九世紀の同化政策で、アメリカ合衆国が先住民族に[d]家父長制度への㋔ヘン成を強いた時、男性名の多くはそのまま名字となり、A女性の多くは名前を失った。それ以来、名字からはB祖先の物語を読むばかりになりつつあったが、一九六〇年代以降活発化している文化復興運動の中、現在[e]な名付けがまた復活しつつある。

（阿部珠理『世界の名前』中一編）

問1　傍線部㋐～㋔のカタカナ部分と同じ部首を持つ漢字を、次の①～⑤のうちからそれぞれ選べ。
解答番号は[18]～[22]。

① 素　② 掌　③ 際　④ 写　⑤ 驚

問2　[a]～[e]に該当する語を、次の①～⑤のうちからそれぞれ選べ。
解答番号は[23]～[27]。

① 円環状　② 伝統的　③ 異質性　④ 文明的　⑤ 西欧的

問3 [α] に該当する語を、次の①～⑤のうちから一つ選べ。
解答番号は 28 。

① 希少な、尊いものとしていること
② とても面白がっていること
③ とても正確に表していること
④ 見てみぬふりをしていること
⑤ 卑下も蔑視もしていないこと

問4 傍線部A「女性の多くは名前を失った」とあるが、ここでの「名前」が意味するものとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。
解答番号は 29 。

① 自分の物語
② 自分を物語るもの
③ 部族の物語
④ 部族とのかかわり
⑤ 自然界とのつながり

問5　傍線部B「祖先の物語を読む」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号は 30 。

① 祖先とその人生を想像すること
② 祖先の活躍を語り継ぐこと
③ 祖先の教えを守り、伝えること
④ 部族の歴史をたどること
⑤ 遠い昔の世界を珍しがること